

記号の意味 【カテゴリー】 <<サブカテゴリー>> ?理論的に産出したカテゴリー 実線:データに基づく関連性 破線:理論的に考えられる関連性

図5. 【理解不足の自覚】の現象のカテゴリー関連図

《状況：研究への取り組みのタイミング》		
<GTAで今研究に取り組もうとしている(7C-6-1)>		
	取り組もうとしていること 「実際に」の意味	GTAを用いた研究(7C-6-1)
低い？	取り組もうとしている程度	「まさに今」の意味(7C-6-1)
過去？遠い将来？	タイミング	高い(7C-6-1)
低い？	取り組みへの意気込みの程度	まさに今(7C-6-1)
		高い(7C-6-1)

学ばない？学びの先延ばし？

学ぶことへの切迫感？

【行為/相互行為:研究の理解】		
GTAの理解の深化(7K-6-1),GTAの理解の深化(7K-6-1),理解できていない(4E-6-1),活用できるほど理解できていない(4F-6-1),<研究とは何かを再認識(6D-6-1)>		
	理解したこと	GTA,質的研究全般(7K-6-2),研究方法(7K-6-2),考え方(7K-6-2),「研究とは何か」(6D-6-1)
初めて？	理解した機会	再度(6D-6-1)
中等度(落とし込めていない)(4F-6-1),低い？	理解した程度	非常に高い(もちろん)(7K-6-1,7K-6-2),高い(6D-6-1)
減少	理解の方向性	深化(7K-6-1,7K-6-2,6D-6-1),増加？

《行為/相互行為:研究を行う環境への認識》		
<スーパーバイザー不在(4E-6-2),<職場が活用できるレベルにない(3I-6-1)>		
スーパーバイザーの存在？	研究の環境	スーパーバイザー不在(4E-6-2),職場が活用できるレベルではない3I-6-1
高い？	研究環境が整っている程度	低い(4E-6-1,3I-6-1)

《行為?相互行為:重要性的の認識》		
<GTAの重要性的の認識(7B-6-1)>		
	認識したこと	研究方法として(GTAは)重要(7B-6-1),
低い？	認識の程度	高い(7B-6-1,6H-6-1)
低い？	認識への確信度	高い(7B-6-1,6H-6-1)

《行為?相互行為:必要性的の認識》		
<GTAの必要性的の認識(6H-6-1)>		
	認識したこと	研究をするうえで(GTAは)必要(6H-6-1)
低い？	認識の程度	高い(7B-6-1,6H-6-1)
低い？	認識への確信度	高い(7B-6-1,6H-6-1)

《行為/相互行為:研究できない》		
<おこがましく研究できない(4E-6-3)>		
低い？	思うこと	研究できない(4E-6-3)
	思う理由	おこがましいから(4E-6-3)
	思う程度	高い(4E-6-3)

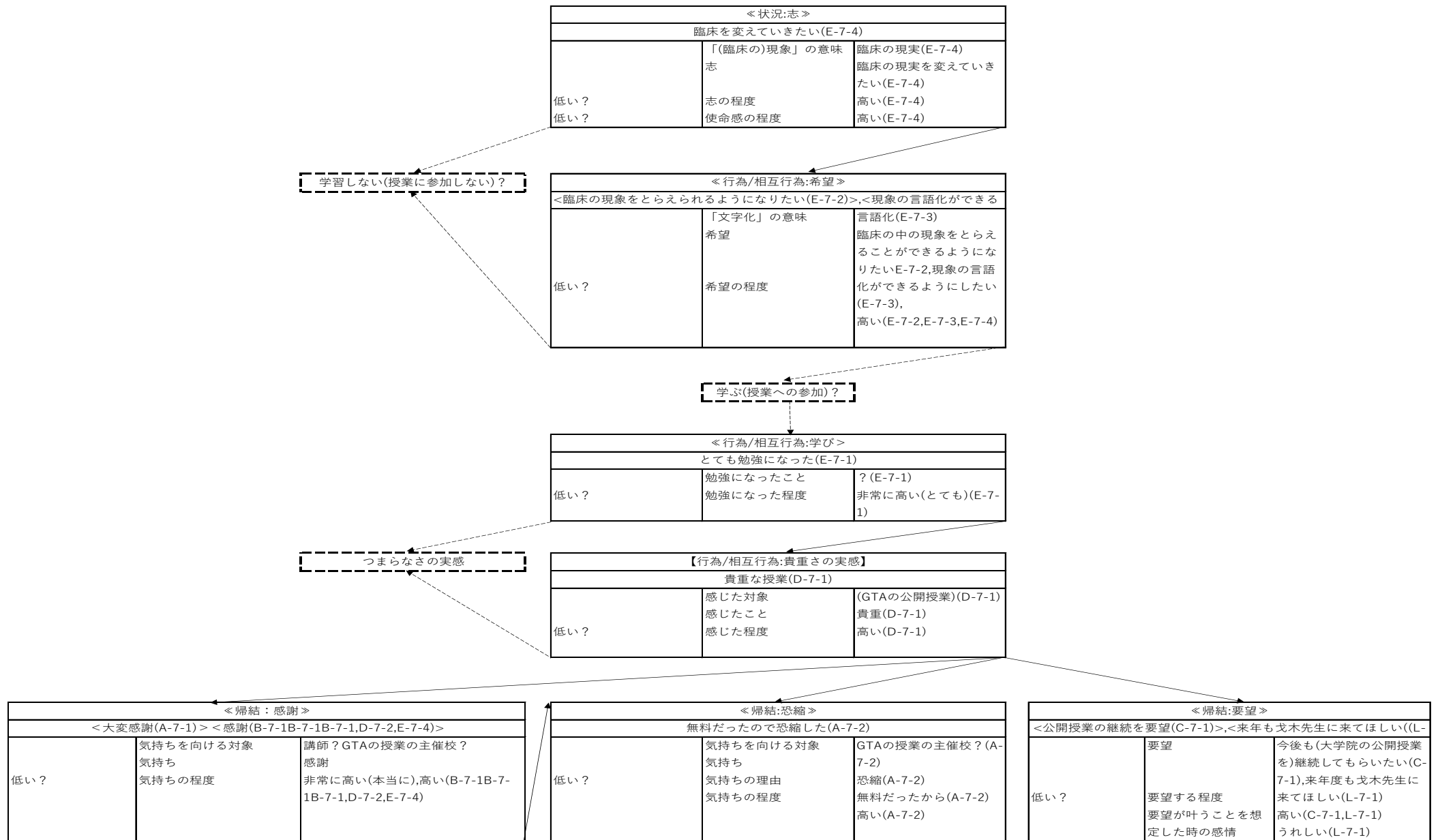
《行為/相互行為:GTAの活用可能性の判断》		
GTAの活用範囲の判断(6A-1,6A-2)		
利便性？簡便性？	判断したこと	アンケートの書き込み分析には向かない(6A-1),インタビュー分析には活用できる(6A-2)
低い？	判断への確信度	高い(6A-1),中等度(6A-2)

帰結:別の研究方法を選択？

《帰結:研究支援のニーズ》		
<指導者の必要性的の認識(4F-2)>		
	認識したこと	(GTAの)指導者が必要(4F-2),研究への経済的な援助?,研究への情緒的支援?,研究する物理的環境?
低い？	認識している程度	高い(4F-2),中等度?

記号の意味 【カテゴリー】 《サブカテゴリー》 ? 理論的に産出したカテゴリー 実線:データに基づく関連性 破線:理論的に考えられる関連性

図6. 【研究の理解】の現象のカテゴリー関連図



記号の意味 【カテゴリー】 ≪サブカテゴリー≫ ?理論的に産出したカテゴリー 実線:データに基づく関連性 破線:理論的に考えられる関連性

図7. 【授業の貴重さの実感】の現象のカテゴリー関連図